

(報告事項3)

JAハリマ自己改革の取組状況について

管内では少子高齢化・人口減少など厳しい状況となっておりますが、かけがえのないふるさとを次世代に繋ぐことは私たちの責任です。この責任を果たすため、子供たちから高齢者まで幅広い世代に地域（ふるさと）の魅力と元気を与え続ける組織でなくてはなりません。

そこで、JAハリマは地域に選ばれ、地域に根ざし、存在し続けるための事業基盤の構築を実現するため、“協同の力で「農業・暮らし・ひと」の未来を育む魅力あるJAへ”を掲げ、第9次中期経営計画及び営農振興プラン30を策定し、「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」「経営の健全化」を軸とした自己改革に取り組んでまいりました。

【変革目標】

- I 営農販売事業の強化により魅力と活力ある地域農業を実現します。
- II 総合事業活動と組合員活動を通じて、魅力ある地域社会を実現します。
- III 地域の声を活かした魅力ある組織を実現します。
- IV 魅力あるJAづくりのために経営の高度化と効率化を実現します。
- V 地域に根ざした協同組合として、意識改革と活力ある明るい職場づくりを実現します。

【重点とする取り組み】

I 「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」への取り組み
営農振興プラン30の実践（次ページ）

II 「地域の活性化」への取り組み

取り組み	具体的な内容	平成30年度の取り組み状況
魅力ある地域づくりのため の暮らしのサポート活動	・次世代への食農教育活動	・ちゃぐりんフェスタ開催 36名参加 かまごごはん塾開催 3小学校にて開催 180名参加
	・地産・地消を軸とした安全・安心な食への取り組み ・世代別・性別の暮らしの活動への取り組み ・高齢化社会に対応した生きがいづくり活動	・クッキングフェスタ開催 142名参加 各種料理教室開催 9会場 119名参加 ・きらきら講座開催 7回開催 285名参加 エンジョイライフクラブ開催 6回開催 58名参加 生きいき健康学習会開催 4会場 452名参加 ふれあい出前講座開催 12会場 139名参加 歌唱健康教室開催 1会場 28名参加

III 「経営の健全化」への取り組み

取り組み	具体的な内容	平成30年度の取り組み状況
経営の高度化と効率化の実現	・組合員、地域住民の声を経営に反映させる取り組み ・部門別収支状況による事業の見直しと、組織基盤の再構築	・組合員アンケートの実施 1,500件中 1,270件回収 回収率84.7% ・不採算部門の廃止 Aコープちくさの閉店（31年3月25日閉店） ・事業の見直し 旅行業務を㈱農協観光姫路支店との事業運営協力方式の導入決定（31年4月1日より） サンパティオ図書館の運営委託先決定 Aコープいちのみや店経営改善方策の策定（継続協議中） ・4営業部体制への移行 3支所（染河内・下三方・繁盛）の営業部への統合（31年4月1日統合）

【今後の取り組みについて】

令和元年度は、第10次中期経営計画及び新たな営農振興プランの初年度として、単年度事業計画の進捗管理を確実にいき、着実に実践してまいります。

今後も「農業」を軸とした経営収支の改善に取り組み、引続き自己改革を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

(営農振興プラン30の実践)

農家手取りを最大化する産地振興と販売戦略

重点目標	重点方策・具体的方策	平成30年度取り組み状況と課題
地域特産物の育成	栽培面積の拡大 水稲 直接販売とブランド化 550ha 14,000袋 技術向上による安定生産 黒大豆 50ha 55t アスパラガス 1.5ha 3.5t 自然薯 1.8ha 5.5t 山椒 年700本 5.0t 新規作物の育成 ニンニク 3戸 60kg	天候不順(高温・少雨)による収穫量の減少で出荷量が大幅に減少しました。対策を協議し収穫量・出荷量の確保に取り組んでいきます。 (30年度実績) 水稲 526ha 11,407袋 減化学肥料栽培 1.2ha 天候不順(高温・少雨)により生産量が大幅に減少しました。作付面積確保のため、生産者・農会長・農林公社と面談を行いました。あぜみち講習会を2回実施しました。 (30年度実績)黒大豆 32ha 10t 現地巡回および講習会を実施したが、高温・乾燥の影響で出荷量が減少した。対策を強化し、安定した出荷量の確保に取り組んでいきます。 (30年度実績)アスパラガス 1.0ha 2.2t 視察研修・部会合会を通じて栽培技術の向上に取り組みましたが、高温の影響で収穫量が減少しました。対策を強化し、収穫量の確保に取り組んでいきます。 (30年度実績)自然薯 1.6ha 3.0t 剪定講習会、出荷講習会を開催し、出荷量の確保に取り組みました。引続き出荷量確保に取り組んでいきます。 (30年度実績)山椒 760本新植 5.2t 7月に1集落に対し説明会を開催し10月に種子の斡旋を行い、面積拡大に取り組みました。 (30年度実績)ニンニク 12戸 400kg

持続可能な農業の実践と農業生産の増大

重点目標	重点方策・具体的方策	平成30年度取り組み状況と課題
営農組織づくりと地域リーダーの育成	集落営農組織の立上げ支援 担い手の育成と農地を守る活動 農業教室開催 (一財)穴粟北みどり農林公社との連携	行政と連携して支援に取り組みましたが新規集落営農組織の立ち上げには至りませんでした。引き続き支援を行っていきます。 県農地集積事業を活用し、農林公社と連携のうえ集積事業に取り組んでいきます。 果樹を中心とした農業教室(年4回)の実施と、農作業安全講習会の開催により担い手育成に取り組みました。 黒大豆栽培に関する協議を中心に協議を重ね、面積確保に取り組みました。 農作業省力化に向けた協議を行っていきます。

消費者に信頼され求められる農産物供給体制

重点目標	重点方策・具体的方策	平成30年度取り組み状況と課題
特産品の有利販売	直売所の活性化 ・各種講習会開催 ・周年出荷の確立 ・生産履歴記帳と提出 ・イベント販売	食彩館での各種イベントを5回開催し、特産品の有利販売に取り組みました。 また、周年出荷を可能にするビニールハウスを2棟設置しました。

営農相談活動の充実

重点目標	重点方策・具体的方策	平成30年度取り組み状況と課題
生産者満足と農業者所得向上を目指した営農相談活動	生産者満足と農業者所得向上 ・出向く営農相談活動(年間3,000人) ・総合提案型営農相談員育成 ・関係機関との連携	タブレット端末機を活用した営農相談活動は年間1,392名。引続きタブレット端末機を活用し、出向く営農相談活動に取り組んでいきます。

農業生産の拡大に向けた取り組み

取り組み	具体的な内容	平成30年度の取り組み状況と課題
農業所得アッププランの取り組み	地域振興作物のPRと販売力強化 アスパラガス・自然薯・ニンニク	農業祭や食彩館のイベントを通じて地域振興作物のPRに取り組みました。 新規就農者の増加と販路拡大による農業生産の拡大に取り組んでいきます。